

## 〔中村慎一郎君レリーフ訪問〕

10/28、29両日に行われた懇親山行につき、その一部を報告致します。

29日の朝は雨の音とともに目が覚めた。朝食を終え、一足先に帰った山崎、佐藤（活）両氏の他のみんなが中島邸に集まったのは9時頃であった。有明山組は初老派（丸山、倉知、三森）、中年派（加藤（博）、近藤、稲毛）に分かれ、いろいろ検討していたが、中島さん最後の登山のあとを辿ろうとこだわっていたのはやはり初老派。中年派は登山口まで行つて、あとはホワイトセールに逝つた萬濃

君のレリーフを訪ねようと最初からギブアップ。

10時頃、奥さんに案内されて彼らが出ていったあと、私は中島邸に残り、松尾両氏の到着を待った。10時40分頃彼らが到着。松尾はこの朝9時10分茅野駅着の「あずさ」で来た俵さんをピックアップ、しかも途中扇沢方面に行くピーナスラインに入り込んで引き返したというから大町も近くなったものである。

程なく奥様が帰って来られ、松尾のシャリオで大谷原に出発。途中エコノミスト村入口近くのそばやで腹ごしらえをし、30分ほどで大谷原着。ちょうど紅葉真っ盛りでそば降る雨もなかなかよいものであった。中村君のレリーフは6、7年ほど前、私が一人で訪ねようとして、俵さんに事前に教えてもらったにもかかわらず、たどり着けなかった難しいところにある。

ここで行き方を解説しておこう。大谷原の大冷沢を渡る橋の前まで車で行く。橋を渡つて対岸に渡れば左は赤岩尾根方面、右の車止めを乗り越えて若干下る。道なりに左の樹林帯を行けば5分ほどでまた橋に出会う。橋を渡つて対岸にはまっすぐ大ゴ沢沿いの道があるが、左に大川沢沿いの小道をとる。2分ほどで営林署の小屋の前を通り、更に細

くなった道に行く。

営林署から5分ほど行けばそれまで遠ざかっていた大川沢が急に眼前に現れる。ここで少し（5メートルほど）あと戻つて、左側のやぶのすきまに押し入るのに適当な破れ目を探し、突っ込む。道から20〜30mほど沢側に下つたところにレリーフがはめ込まれた岩がある。岩のそばの目印としては根元から幹が5、6本に分かれたモミの木、道からの目印としては歩いていて左側に、植えてから10年ほど経った針葉樹の若木の群がある。

レリーフから中島邸に戻つて、後処理（水道周りの水抜き、ガス抜き等の冬対策）を行い、松尾号に俵さん、奥さんの車に私がのつて蓼科高原のアダージョに向けて出発。アダージョでは笑顔が素敵な奥様とクウちゃん（犬）の歓迎を受け、一通り見て回つてコーヒーなどご馳走になった。5時頃アダージョを出発し、私は中島夫人の車で萩窪まで、俵さんは松尾号で茅野の駅まで送ってもらいました。

33年前を思い出す感傷の旅と、思い切つて全く新しいライフスタイルに踏み出した旧友との出会い、素晴らしい一日でした。

（西牟田伸一・記）